

教会員のページ

特別伝道礼拝報告： 岸本光子先生をお迎えして(6/28)

渡邊 博佐

礼拝「神の業が現れるために」

ヨハネによる福音書 9:1～7 「生まれつきの盲人の癒し」を説き明かされた。
イエスがエルサレムへの通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見つけた。同行していた弟子たちは、この人か両親が罪をおかしたから盲目で生まれたか？(因果応報)とイエスに尋ねた。イエスは、罰ではない。神の御業がこの盲人に現れるためであると答えられた。イエスは地面に唾をはき、泥を作り、盲人の目に塗り、シロアムの池で洗うように言われた。言われた通りに池へ行き(イエスへの信仰と従順)、目を洗うと目が見えるようになった(霊的な清めによる新しいのち)。癒しによって神の力が示され、目が開かれた(信仰に至る)のである。

公開セミナー「キリスト教の看取りーかみさまへ“よろしく”」

大阪暁明館病院/大阪医療刑務所の、緩和ケアでの働きを語られた。命の終点が近い患者との触れ合いでは、言葉の重みも異なる。細心の注意も必要だろう。自分ならその重圧に負けてしまいそう。

医療刑務所の患者(囚人)の「自分は地獄へ落ちるのでは？」と不安を抱え、心配していることが印象的だった。この時点で自分の罪を本当に悔いており、刑期満了で無くとも、許されて普通の患者になっているのでは？先生が示された、4つの言葉 ①愛します ②うれしい、楽しい、幸せ ③感謝します、ありがとう ④ゆるします を心掛け、天国の入口で受ける質問 イ)あなたは人生に何を見出したか？ ロ)あなたの人生は他者に喜びをもたらしたか？ に、素直に応えられるようになりたい。
かみさま「よろしく」お願いします。

*アメリカ映画「最高の人生の見つけ方」も参考になる。(2007年。Netflixで視聴可能)

